

青森県景気ウォッチャー調査

【2024(令和6)年4月期】

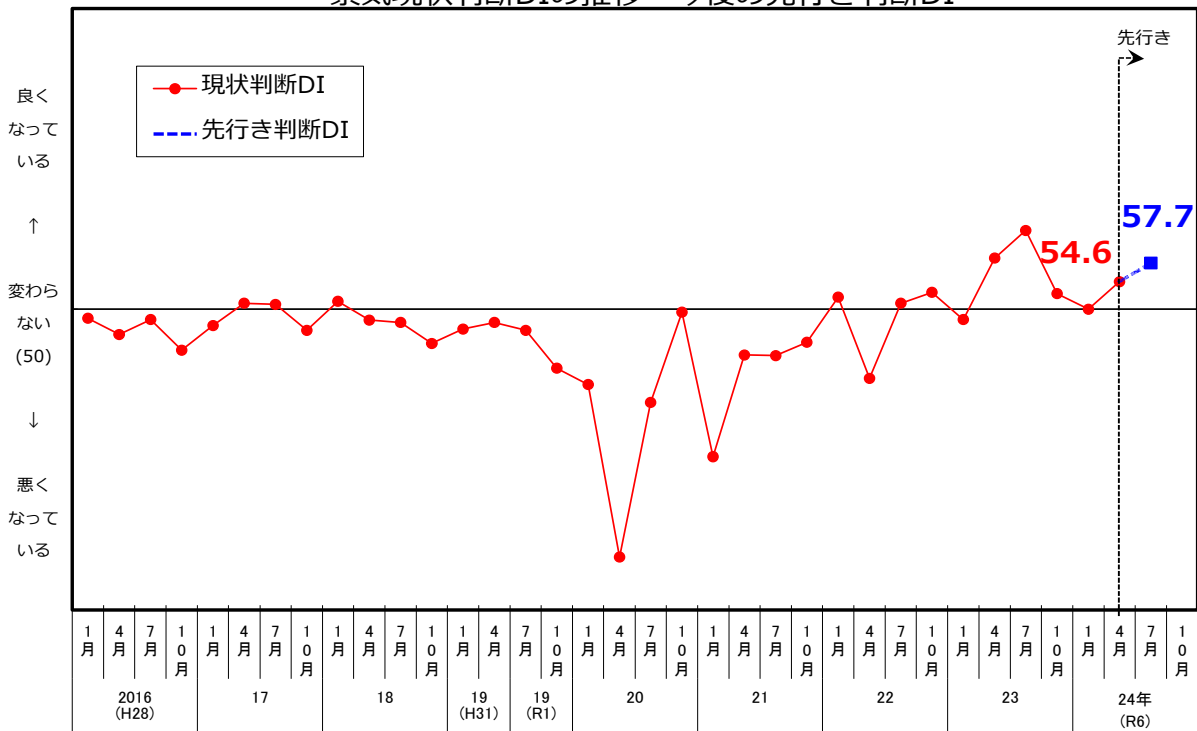
調査期間 2024(令和6)年4月1日～2024(令和6)年4月16日 回答率 97%

概況

4月期の景気の現状判断DIは54.6となり、前期から4.6ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて3.1ポイント上昇の57.7となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



2024(令和6)年4月

青森県総合政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が10.1ポイント上昇、「変わらない」が2.5ポイント低下、「やや悪くなっている」が10.5ポイント低下、「悪くなっている」が2.0ポイント上昇となった。

全体では54.6となり、前期から4.6ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、行事・イベントによる人やお金の動きの活発化、各企業においては賃金上昇の傾向がみられることから景気が上向きであるように感じるといった声が多くあった。

一方で、物価上昇により個人・消費者側としては生活水準が上がったとは感じづらく、企業・売り手側としても積極的な値上げ等が顧客離れにつながることから、双方に明るい要素が見られないという声もみられた。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で6.8ポイント上昇、企業関連で1.5ポイント低下、雇用関連で3.5ポイント低下となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青で9.4ポイント上昇、津軽で5.8ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。下北（参考）では2.5ポイント低下したものの、景気の横ばいを示す50を上回った。県南では0.8ポイント上昇したものの、景気の横ばいを示す50を下回った。

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が4.1ポイント上昇、「やや良くなる」が2.1ポイント上昇、「変わらない」が6.2ポイント低下、「やや悪くなる」が2.0ポイント上昇、「悪くなる」が2.0ポイント低下となった。

全体では57.7となり、今期調査の現状判断DIと比べて3.1ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、観光シーズンの到来による観光客の増加に伴い、消費の増加を期待する声が多くあった。

一方で、コロナ明けという明るい要素を上回る程の物価上昇や自然災害等のマイナス要素が強過ぎるといった声もあった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で3.8ポイント上昇、企業関連で1.5ポイント低下、雇用関連で7.1ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、全ての地域で上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

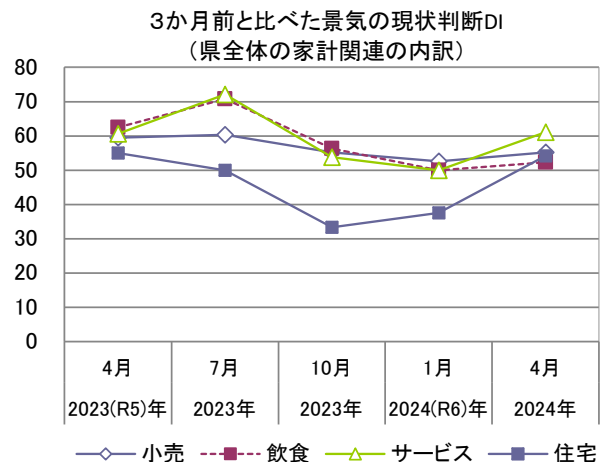
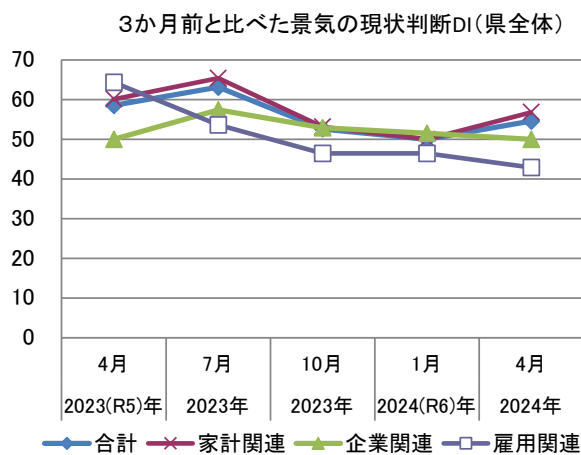
2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

①DI

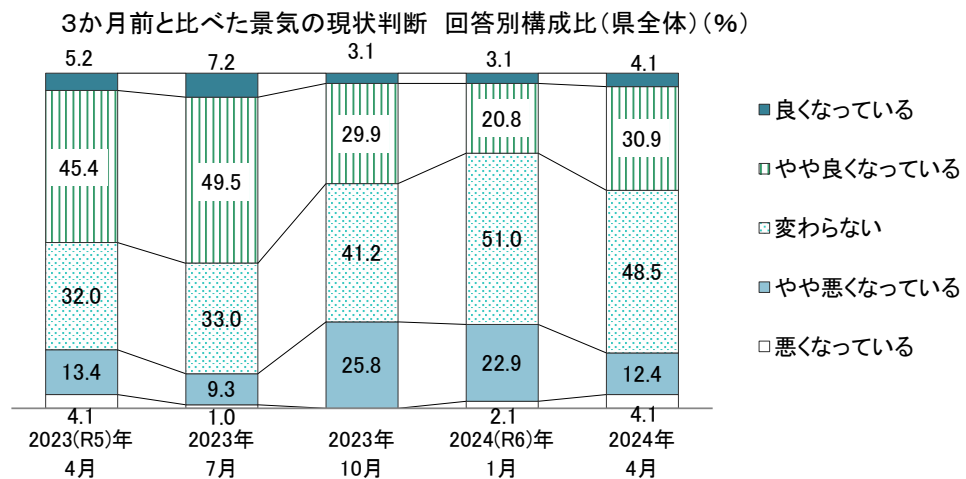
n = 97

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合 計	58.5	63.1	52.6	50.0	54.6	4.6
家計関連	60.1	65.4	53.1	50.0	56.8	6.8
小売	59.5	60.3	55.2	52.6	55.2	2.6
飲食	62.5	70.8	56.3	50.0	52.3	2.3
サービス	60.6	72.1	53.8	50.0	61.1	11.1
住宅	55.0	50.0	33.3	37.5	54.2	16.7
企業関連	50.0	57.4	52.9	51.5	50.0	▲ 1.5
雇用関連	64.3	53.6	46.4	46.4	42.9	▲ 3.5



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良くなっている	5.2	7.2	3.1	3.1	4.1	1.0
やや良くなっている	45.4	49.5	29.9	20.8	30.9	10.1
変わらない	32.0	33.0	41.2	51.0	48.5	▲ 2.5
やや悪くなっている	13.4	9.3	25.8	22.9	12.4	▲ 10.5
悪くなっている	4.1	1.0	0.0	2.1	4.1	2.0



(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 97

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	62.4	61.1	47.7	50.0	57.7	7.7
家計関連	64.6	63.7	50.0	50.3	60.6	10.3
小売	62.1	60.3	50.0	51.7	56.0	4.3
飲食	72.9	70.8	62.5	52.3	65.9	13.6
サービス	64.4	68.3	47.1	49.0	63.9	14.9
住宅	60.0	45.8	37.5	45.8	58.3	12.5
企業関連	52.8	51.5	41.2	50.0	48.5	▲ 1.5
雇用関連	64.3	57.1	39.3	46.4	50.0	3.6

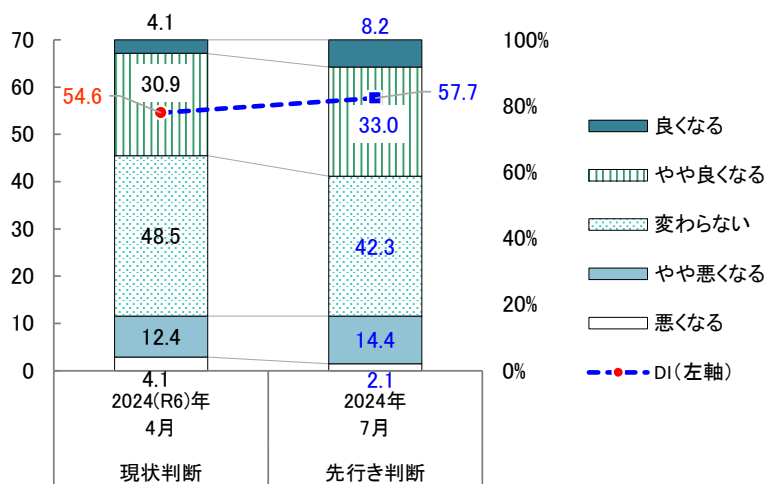
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
合 計	54.6	57.7	3.1
家計関連	56.8	60.6	3.8
小売	55.2	56.0	0.8
飲食	52.3	65.9	13.6
サービス	61.1	63.9	2.8
住宅	54.2	58.3	4.1
企業関連	50.0	48.5	▲ 1.5
雇用関連	42.9	50.0	7.1

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
良くなる	4.1	8.2	4.1
やや良くなる	30.9	33.0	2.1
変わらない	48.5	42.3	▲ 6.2
やや悪くなる	12.4	14.4	2.0
悪くなる	4.1	2.1	▲ 2.0

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

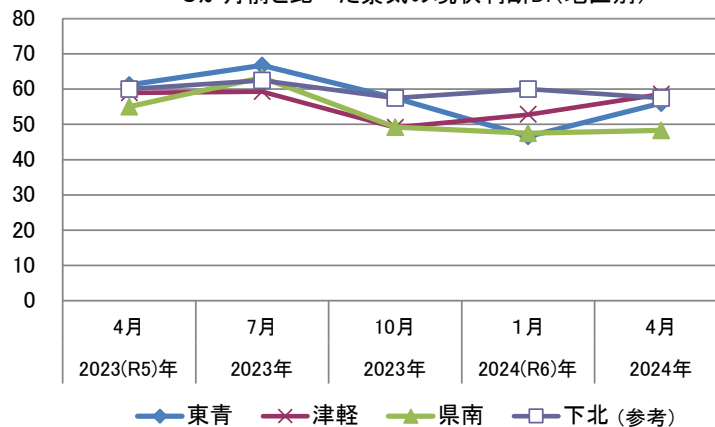
<地区別>

① D I

n = 97

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合 計	58.5	63.1	52.6	50.0	54.6	4.6
東青	61.2	66.7	57.5	46.6	56.0	9.4
津軽	58.9	59.3	49.1	52.8	58.6	5.8
県南	55.0	63.3	49.2	47.5	48.3	0.8
下北	60.0	62.5	57.5	60.0	57.5	▲ 2.5

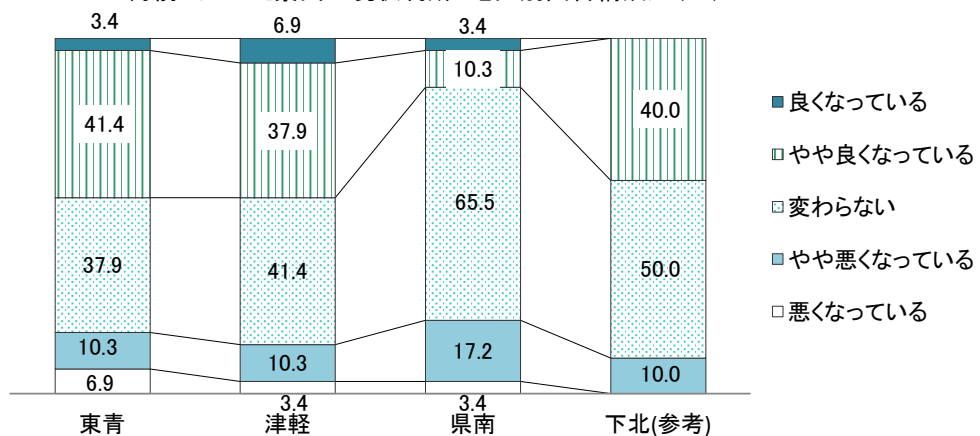
3か月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	3.4	6.9	3.4	0.0
やや良くなっている	41.4	37.9	10.3	40.0
変わらない	37.9	41.4	65.5	50.0
やや悪くなっている	10.3	10.3	17.2	10.0
悪くなっている	6.9	3.4	3.4	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比 (%)



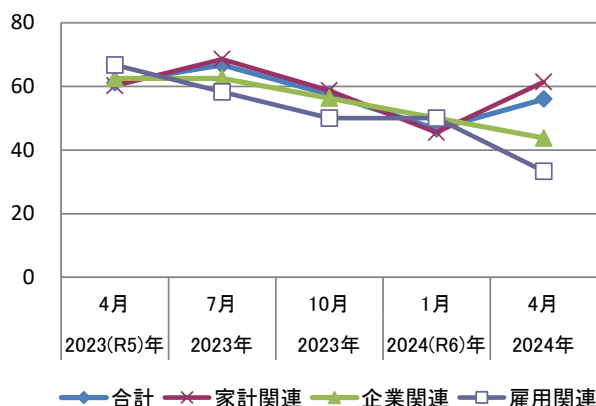
<東青地区>

①DI

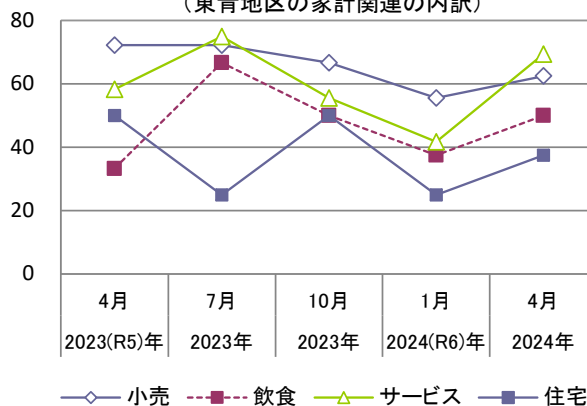
n = 29

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合計	61.2	66.7	57.5	46.6	56.0	9.4
家計関連	60.2	68.5	58.7	45.5	61.4	15.9
小売	72.2	72.2	66.7	55.6	62.5	6.9
飲食	33.3	66.7	50.0	37.5	50.0	12.5
サービス	58.3	75.0	55.6	41.7	69.4	27.7
住宅	50.0	25.0	50.0	25.0	37.5	12.5
企業関連	62.5	62.5	56.3	50.0	43.8	▲ 6.2
雇用関連	66.7	58.3	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



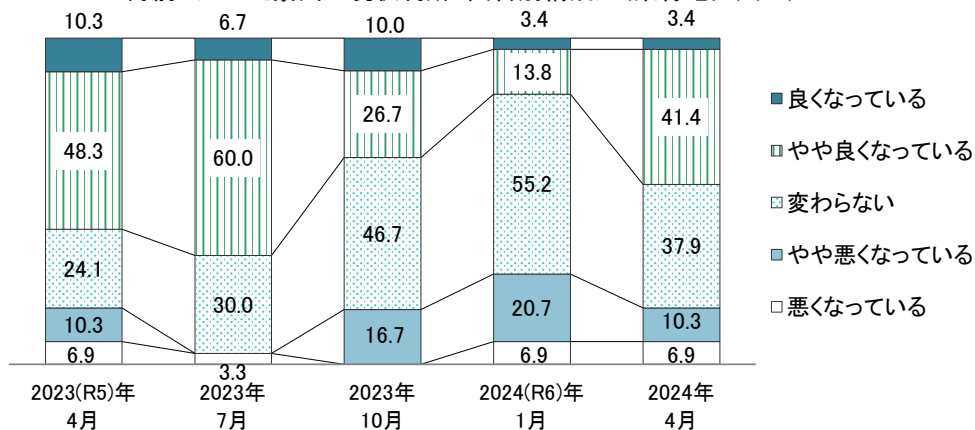
3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良くなっている	10.3	6.7	10.0	3.4	3.4	0.0
やや良くなっている	48.3	60.0	26.7	13.8	41.4	27.6
変わらない	24.1	30.0	46.7	55.2	37.9	▲ 17.3
やや悪くなっている	10.3	0.0	16.7	20.7	10.3	▲ 10.4
悪くなっている	6.9	3.3	0.0	6.9	6.9	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



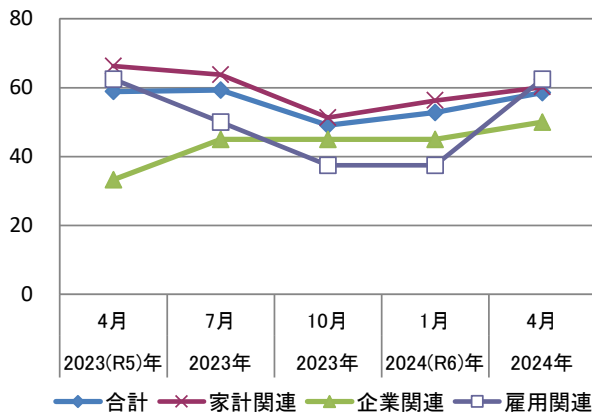
<津軽地区>

①DI

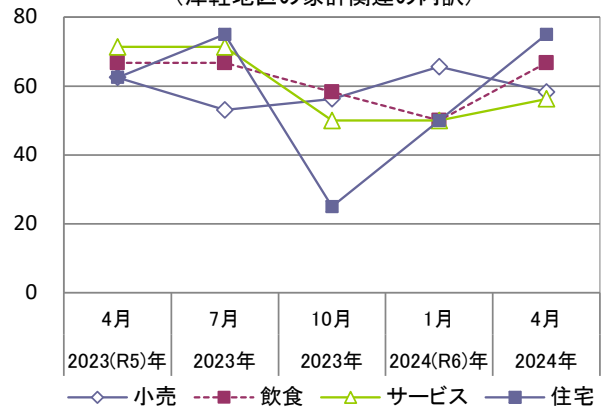
n=29

		2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合 計	家計関連	58.9	59.3	49.1	52.8	58.6	5.8
	小売	66.3	63.8	51.3	56.3	60.2	3.9
	飲食	62.5	53.1	56.3	65.6	58.3	▲ 7.3
	サービス	66.7	66.7	58.3	50.0	66.7	16.7
	住宅	71.4	71.4	50.0	50.0	56.3	6.3
	企業関連	62.5	75.0	25.0	50.0	75.0	25.0
	雇用関連	33.3	45.0	45.0	45.0	50.0	5.0
雇用関連	62.5	50.0	37.5	37.5	62.5	25.0	

3か月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



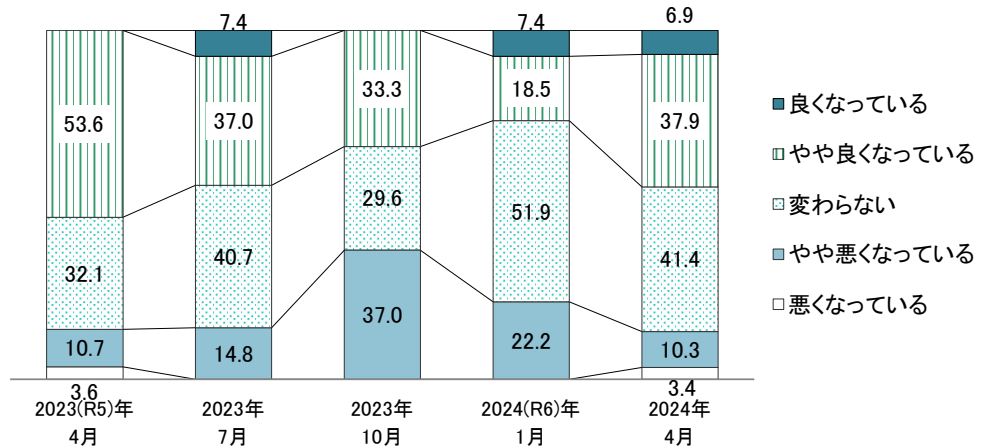
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	7.4	0.0	7.4	6.9	▲ 0.5
やや良くなっている	53.6	37.0	33.3	18.5	37.9	19.4
変わらない	32.1	40.7	29.6	51.9	41.4	▲ 10.5
やや悪くなっている	10.7	14.8	37.0	22.2	10.3	▲ 11.9
悪くなっている	3.6	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区) (%)



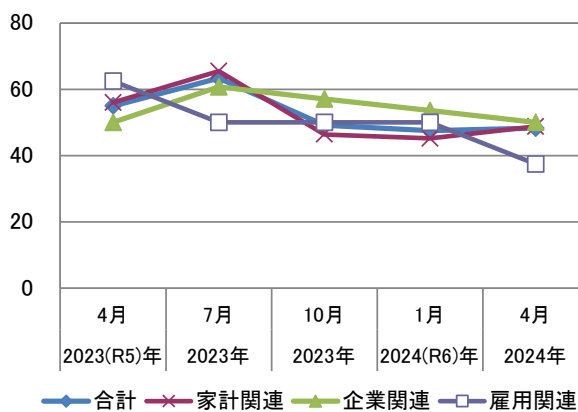
< 県南地区 >

① D I

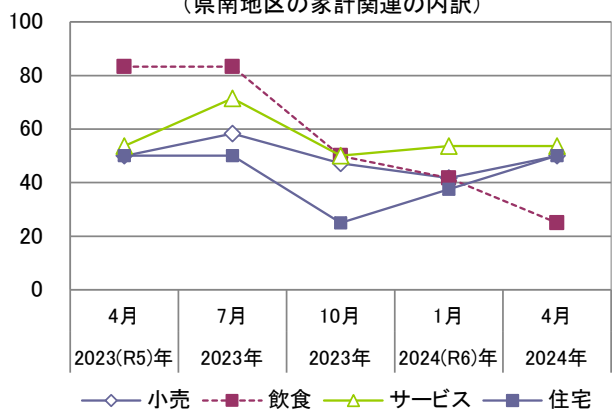
n = 29

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合 計	55.0	63.3	49.2	47.5	48.3	0.8
家計関連	56.0	65.5	46.4	45.2	48.8	3.6
小売	50.0	58.3	47.2	41.7	50.0	8.3
飲食	83.3	83.3	50.0	41.7	25.0	▲ 16.7
サービス	53.6	71.4	50.0	53.6	53.6	0.0
住宅	50.0	50.0	25.0	37.5	50.0	12.5
企業関連	50.0	60.7	57.1	53.6	50.0	▲ 3.6
雇用関連	62.5	50.0	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



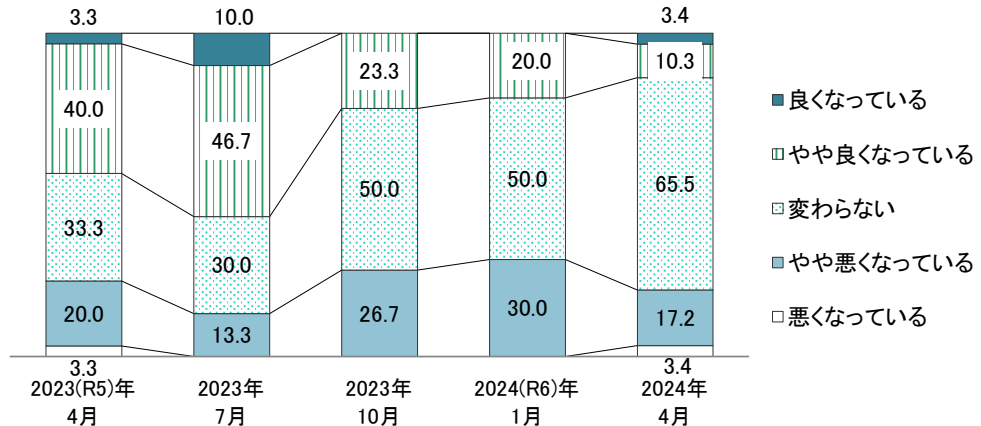
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	10.0	0.0	0.0	3.4	3.4
やや良くなっている	40.0	46.7	23.3	20.0	10.3	▲ 9.7
変わらない	33.3	30.0	50.0	50.0	65.5	15.5
やや悪くなっている	20.0	13.3	26.7	30.0	17.2	▲ 12.8
悪くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

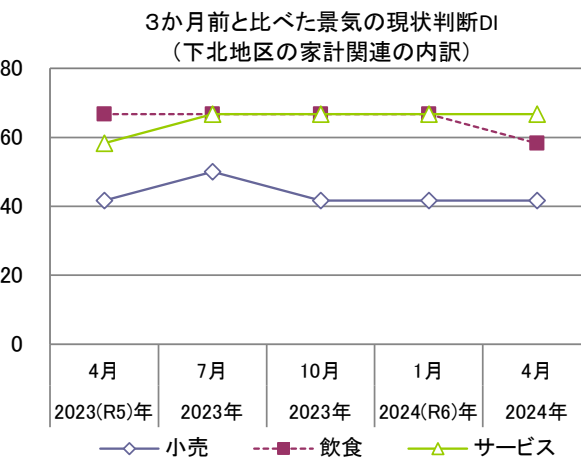
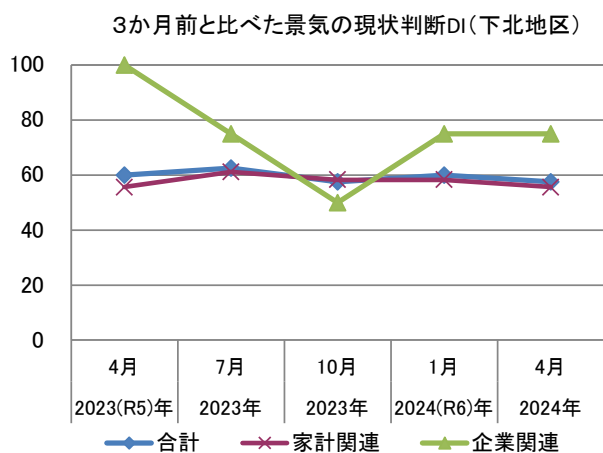


<下北地区> (参考)

①DI

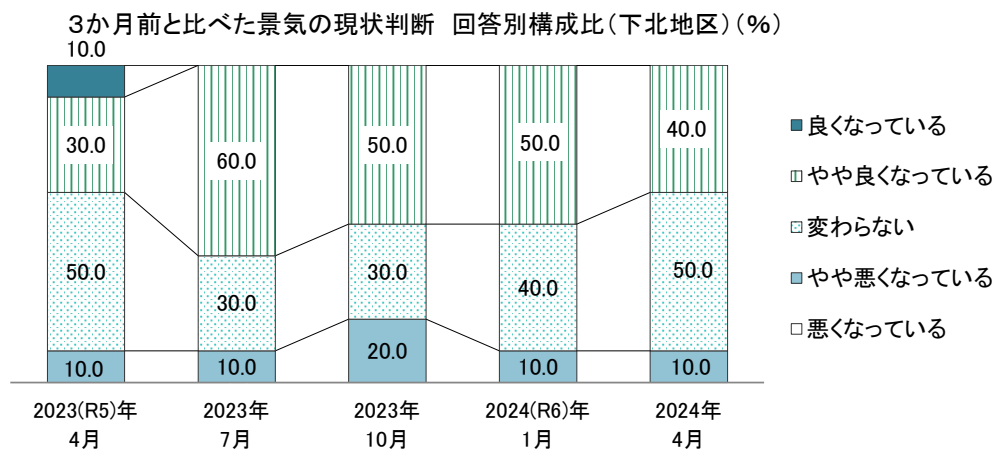
n = 10

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合計	60.0	62.5	57.5	60.0	57.5	▲ 2.5
家計関連	55.6	61.1	58.3	58.3	55.6	▲ 2.7
小売	41.7	50.0	41.7	41.7	41.7	0.0
飲食	66.7	66.7	66.7	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	58.3	66.7	66.7	66.7	66.7	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	100.0	75.0	50.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良くなっている	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	60.0	50.0	50.0	40.0	▲ 10.0
変わらない	50.0	30.0	30.0	40.0	50.0	10.0
やや悪くなっている	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



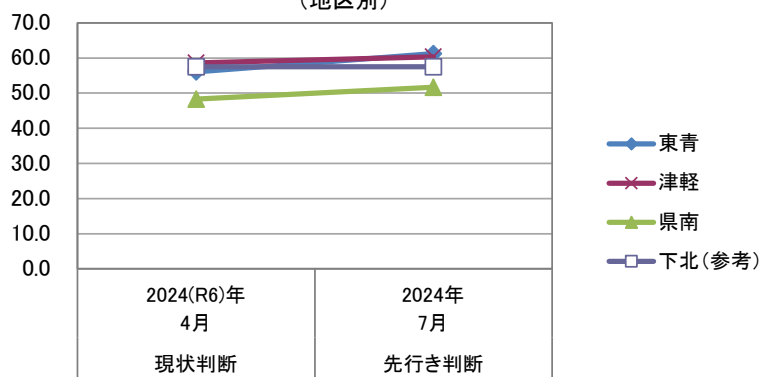
(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

	現状判断	先行き判断	差
	2024(R6)年 4月	2024年 7月	
合計	54.6	57.7	3.1
東青	56.0	61.2	5.2
津軽	58.6	60.3	1.7
県南	48.3	51.7	3.4
下北	57.5	57.5	0.0

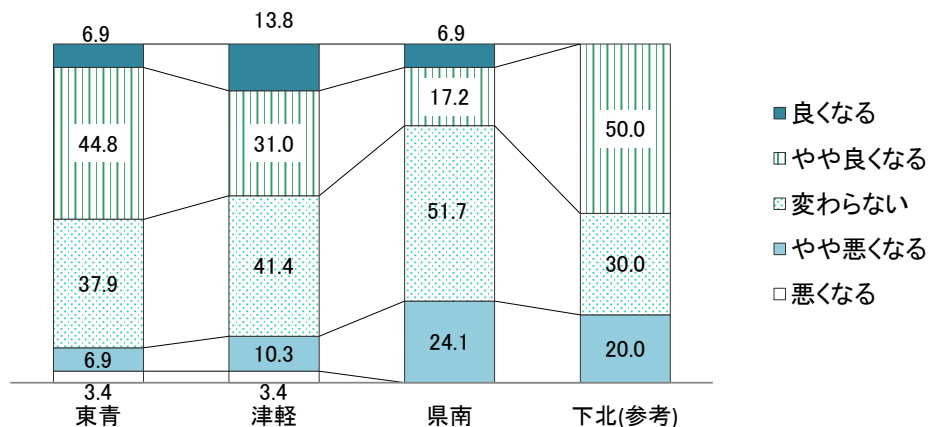
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	6.9	13.8	6.9	0.0
やや良くなる	44.8	31.0	17.2	50.0
変わらない	37.9	41.4	51.7	30.0
やや悪くなる	6.9	10.3	24.1	20.0
悪くなる	3.4	3.4	0.0	0.0

3か月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比(%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合計	66.4	64.2	46.7	52.6	61.2	8.6
家計関連	68.2	67.4	46.7	53.4	63.6	10.2
小売	75.0	72.2	55.6	61.1	71.9	10.8
飲食	75.0	75.0	75.0	62.5	50.0	▲ 12.5
サービス	61.1	66.7	30.6	41.7	63.9	22.2
住宅	50.0	37.5	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	62.5	56.3	43.8	43.8	62.5	18.7
雇用関連	58.3	50.0	50.0	58.3	41.7	▲ 16.6

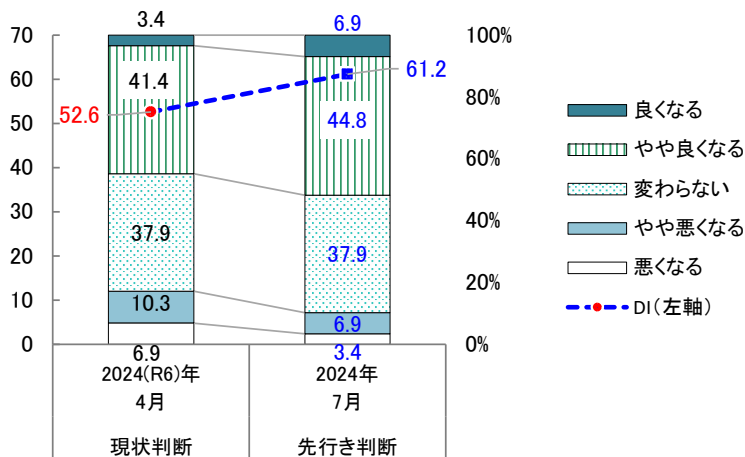
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
合計	52.6	61.2	8.6
家計関連	53.4	63.6	10.2
小売	61.1	71.9	10.8
飲食	62.5	50.0	▲ 12.5
サービス	41.7	63.9	22.2
住宅	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	43.8	62.5	18.7
雇用関連	58.3	41.7	▲ 16.6

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
良くなる	3.4	6.9	3.5
やや良くなる	41.4	44.8	3.4
変わらない	37.9	37.9	0.0
やや悪くなる	10.3	6.9	▲ 3.4
悪くなる	6.9	3.4	▲ 3.5

現状判断と先行き判断との比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 29

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	64.3	59.3	49.1	50.9	60.3	9.4
家計関連	68.8	62.5	56.3	52.5	64.8	12.3
小売	65.6	53.1	59.4	56.3	61.1	4.8
飲食	66.7	75.0	66.7	50.0	66.7	16.7
サービス	75.0	71.4	50.0	50.0	65.6	15.6
住宅	62.5	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0
企業関連	45.8	45.0	30.0	50.0	40.0	▲ 10.0
雇用関連	75.0	62.5	25.0	37.5	62.5	25.0

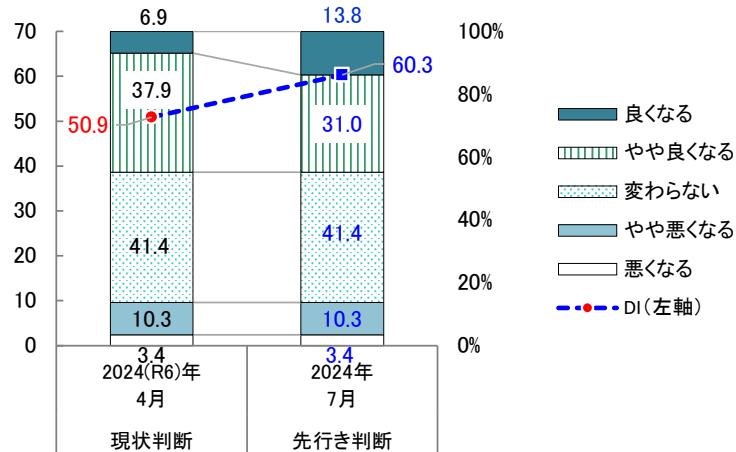
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
合 計	50.9	60.3	9.4
家計関連	52.5	64.8	12.3
小売	56.3	61.1	4.8
飲食	50.0	66.7	16.7
サービス	50.0	65.6	15.6
住宅	50.0	75.0	25.0
企業関連	50.0	40.0	▲ 10.0
雇用関連	37.5	62.5	25.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
良くなる	6.9	13.8	6.9
やや良くなる	37.9	31.0	▲ 6.9
変わらない	41.4	41.4	0.0
やや悪くなる	10.3	10.3	0.0
悪くなる	3.4	3.4	0.0

現状判断と先行き判断との
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

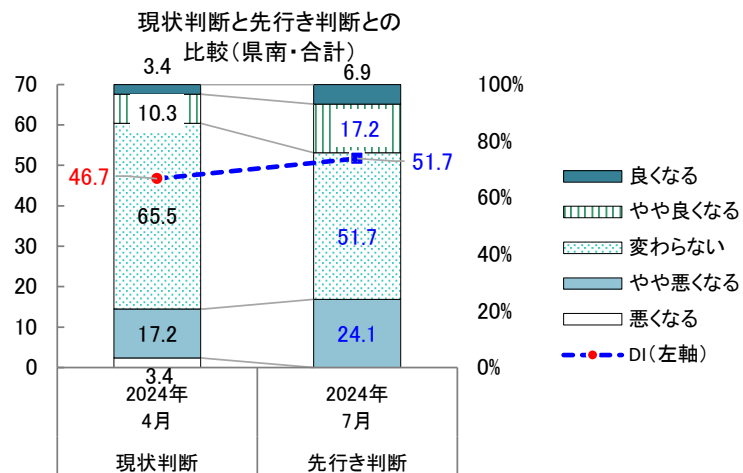
	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合計	59.2	60.8	46.7	46.7	51.7	5.0
家計関連	63.1	64.3	47.6	46.4	55.0	8.6
小売	52.8	63.9	38.9	38.9	44.4	5.5
飲食	91.7	66.7	58.3	50.0	87.5	37.5
サービス	64.3	67.9	60.7	60.7	60.7	0.0
住宅	62.5	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0
企業関連	46.4	50.0	46.4	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	62.5	62.5	37.5	37.5	50.0	12.5

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2024年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
合計	46.7	51.7	5.0
家計関連	46.4	55.0	8.6
小売	38.9	44.4	5.5
飲食	50.0	87.5	37.5
サービス	60.7	60.7	0.0
住宅	25.0	50.0	25.0
企業関連	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	37.5	50.0	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
良くなる	3.4	6.9	3.5
やや良くなる	10.3	17.2	6.9
変わらない	65.5	51.7	▲ 13.8
やや悪くなる	17.2	24.1	6.9
悪くなる	3.4	0.0	▲ 3.4



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 10

	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合計	55.0	57.5	50.0	50.0	57.5	7.5
家計関連	50.0	55.6	50.0	47.2	55.6	8.4
小売	41.7	33.3	41.7	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	58.3	66.7	50.0	50.0	66.7	16.7
サービス	50.0	66.7	58.3	41.7	66.7	25.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	100.0	75.0	50.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

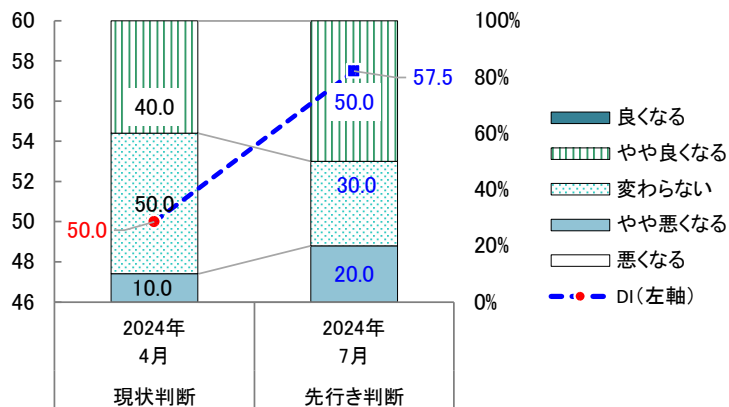
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2024年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
合計	50.0	57.5	7.5
家計関連	47.2	55.6	8.4
小売	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	50.0	66.7	16.7
サービス	41.7	66.7	25.0
住宅	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2024年 4月	先行き判断 2024年 7月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	40.0	50.0	10.0
変わらない	50.0	30.0	▲ 20.0
やや悪くなる	10.0	20.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との
比較(下北・合計)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	国内外問わず来館者数が増加しているから。
		津軽	百貨店・スーパー	当社の来客数・売上金額共に上昇している為。
			設計事務所	私の周囲の建設業関連業者においては今年計画している工事や業務のボリュームが例年以上と感じます。年度初めという影響もあると思いますが飲食店も予約がなかなか取れないほど繁盛しているようです。
		県南	旅行代理店	社員旅行や団体ツアーを見積もる際、希望の行き先に海外を挙げる方が増えた。カレンダーで連休になりそうな日は、早めに旅行計画をして来店相談する方が増えた。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	ドラッグストアが好調。管内に大手小売り店オープンと活気づいている。
			百貨店・スーパー	行事やイベントも制限されることなく以前のような通常開催が増えているため。天候に左右されてる点もあるが、外出している人が多くなっており、消費に繋がっている。
			衣料専門店	前回の調査で現況は悪いと回答しましたが、暖冬から雪対策の心配から解放され外出が増えているようです。また門出の時期でもあり洋服等を新調される方が活発になってきました。
			一般飲食店	色々季節の行事、人事異動に伴ってこれまで自粛していた送別会などが少し増えた。まだまだひかえている方もいるが次第に上向きになっているように感じました。
			都市型ホテル	宿泊：旅行支援の特需が終了したが、一定数の観光、ビジネス需要は継続している。今後もインバウンド増加等で需要は継続すると思われる。 飲食：宴会自粛ムードも終了し、コロナ前の状態に戻っている。大規模な宴席が減少の傾向あり、という話も聞かすが、当館については宴会場の規模で大型案件の受注ができないことからその影響は感じられません。また、今後は冠婚葬祭等親族の集まりも以前通りに実施されることを期待しています。
			カソリンスタンド	繁華街の夜の人出が増えているように感じるため。
			美容院	季節の変わり目で出かける事が多くなった。現在は、コロナに対して気をつけなければというのは少なくなったように思います。
			家電量販店	物価の高止まりは依然として続いてはおりますが、観光需要やインバウンド消費の拡大などが景気的好循環を後押しする形となっているように見受けられます。また、高水準の賃上げも各企業で実施されていることも影響してか、個人消費は緩やかではありますが上昇傾向にあると判断されます。
			レストラン	インバウンドの影響があるかな?県外のお客様もちらほら。
			娯楽業	今年の冬は降雪量も少なく、天候も穏やかだったからか、1月から若干ではあるが、集客が増えました。
	津軽	美容院	3ヶ月前の話題は震災の影響が色濃く残っていたが、今は春闘の満額解答など明るい話題がある。値上げラッシュは心配だが。	
一般飲食店		県外、海外の観光客数が増えているが、スタッフが足りずに売上が増やせないでいる。		

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	津軽	商店街	3月は海外、県外の観光客が増え、街歩きをしている姿を見かける。また4月からのさくらまつりに合わせて春期間は景気が一時的に良くなることが期待されるため。	
			レストラン	桜まつり期間の予約状況から。	
			一般小売店	マスクを外す人が、少しずつ増えてきているので、当社の取り扱い商品の需要は少しずつアップしている。	
		県南	一般小売店	コロナの影響がほぼ収束した感がある事。インバウンドを吸収できる業種はプラスに転じていると思うから。	
			下北	レストラン	客単価が上がっている。
				タクシー	物価に追いついていないとは言え、昇給や賃上げも実施され、気持ち的には余裕が出ていると思います。
		都市型ホテル	コロナ感染症が5類へ移行してから、初の歓送迎会時期だったが、かなり以前に戻ったように感じます。但し、冠婚葬祭は規模がコロナ禍で縮小したまま定着してしまったと思います。		
		企業	東青	広告・デザイン	クライアントからの受注が順調に推移。それを見据えてのR6自社予算計画をたてられている。
				津軽	食料品製造
	電気機械製造		受注が増えて来ている。		
	県南		紙・バルブ製造	生産・販売量が増えているため。	
	下北		食料品製造	季節が変わり人の出入りも増えはじめ冬季よりは客数が増えた為やや良くなっているを選択しました。	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	春の観光シーズンへの期待感から人やモノが動いている。	
変わらない	家計	東青	一般小売店	引き続き、やや上昇気配ということ。	
			百貨店・スーパー	年度末の異動等、歳時期の支出単価が下がったから。	
			タクシー	コロナ明けによる社会活動の復活は徐々に見られるものの、諸物価（特に食料品）の高騰と人口減少（それに伴う人手不足）による個人消費の低迷、企業にとっては労働時間の2024年問題に意味不明の賃上げ要請に金利復活と、個人と企業の双方に明るい要素が何も見られないまま時が経過してゆくものと思われま。	
			旅行代理店	物価の高騰に賃金UPが追いついていない。	
			設計事務所	賃金、初任給、株価、が上昇、地方都市の経済環境にどの程度の波及現象が見られるのか今のところ肌では感じ得ない。建築資材価格も高止まり、職人不足もあり好材料がない。	
			商店街	気候が暖かかったため、季節商品の動きは鈍かった。しかし、街の人通りは着実に増えているため。	
			津軽	観光名所等	昇給の話、話題で周辺ではコロナも収まり加減。やれやれと思っていたら、4月に入り運賃や取扱の商品の異常の値上がり通告。以前から比べてゴミは大幅削減したにもかかわらずこれも大幅値上げ。社会環境の変化をじっくり確認している。

現状	分野	地区	業種	理由		
変わらない	家計	津軽	ガソリンスタンド	行動制限や制約のない行事・イベントによる人やお金の動きの活発化、各企業においては賃金アップの傾向がみられることから景気が上向いているように感じる要素はある。その反面、原材料・光熱費の高騰、物価高の状況は続いており、個人・消費者側としては生活水準が上がったとはなかなか感じづらく、企業・売り手側としては積極的な値上げ等を講じることは顧客離れにつながることから「企業努力の限界」のギリギリまで耐えている場合が多いため、総合的にみてどちらとも言えない（変わらない）。		
			娯楽業	人々の動きは活発になったとは思いますが、景気自体が良くなってるかと言われると、大きく変わってないと思う。		
			乗用車販売	2023年度より賃上げが実現され、本年度も賃上げが実施される見込みはあるが実質賃金はまだまだプラスとは言えず、まだまだ高額商品の買い控えは続くと思われる。		
			スナック	物価高や燃料費高騰。		
			住宅建設販売	新築計画のお客さまは、一方的に金額が合いません。物価(資材)の高騰により更に値上がっていて私達自身が見積り提出に懸念をいただく程です。		
	家計	県南	百貨店・スーパー	3ヶ月前と比較しても客単価に変化が見られない。一品単価は、価格上昇により上がっているが、買上点数はむしろ減っている。		
			ガソリンスタンド	大きな変動はないように思われる。4月から各商品の値上げ状況が景気の足を引っ張るのか心配です。		
			タクシー	コロナウイルス感染症が5類感染症移行後は、経済もゆるやかな回復基調の傾向は見られるが、物価の高騰、円安など、さまざまな要因から、将来の不安など、消費行動を抑制しているような感じがしている。ここ数カ月を比較しても、売上も前年同様もしくは前年割れの状況が続く。		
			一般飲食店	現実、昨比は横ばいで中々コロナ以前の状態には戻らない。それに並行して、人不足で縮小せざるを得ない状態が続いています。飲食全体の問題で出口が見えない現状です。		
			卸売業	規模の大きい飲食店やホテルは売り上げが伸びているが、小さい居酒屋やスナックはあまり景気が良くないため。		
			コンビニ	給料も物価も3ヶ月前とは変わっていないと思います。		
			商店街	特に良いニュースも悪いニュースもないから。		
			住宅建設販売	物価高による影響が出てきていると思うが、賃上げムードも広がっているから。		
			家電量販店	4月からの食材の値上げ、や水産業の不振など。		
			乗用車販売	物価高騰の影響が大きい。大手企業では、ベースアップ賃上げが満額回答で妥結しているところが目立つが、地方企業では、そこまで辿り着かず、家計の収支は厳しい状況である。		
			設計事務所	良くなったという情報が入らない。		
			家計	下北	ガソリンスタンド	ホテルでの宴会はコロナ前ぐらいに戻ってきているようで大分忙しいようですが、冠婚葬祭は全く入らないようです。都内では外国人を沢山見ましたが、当市内では全くと言っていいほど見ることはありません。都会と田舎の格差がますます広がっているように思います。
					コンビニ	当市と当市の周辺は、いい話を聞かない。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	建設	消費動向が小幅に増加しているが、失業率は若干悪化している。
		津軽	経営コンサルタント	少しずつ賃上げや定年引上げの傾向が出てきているが、まだ直接景気に結びついていない。
		県南	飲料品製造	観光客などの動きは活発化しており、飲食店などにも以前より入り込んでいる模様。ただ歓送迎会の時期とすれば物足りず。商品の出荷なども予定通り進んでいるが、資材などの値上げ等あり引き続き経費が圧迫されている。
			経営コンサルタント	飲食業、宿泊業は、人流の増加で売上増加基調は変わらないが製造業、特に水産加工業においては、原材料価格の上昇、エネルギー価格の高止まりで厳しい経営が続いている。
			広告・デザイン	仕事量はほぼ変わらない状況であるのに、様々なモノが値上がりし、利益が減ってる状態が続いている。
		建設	特別変化をもたらす景気上昇の要因は見当たらない。スーパーなどの個人購入は上向いていると思うが、今年は少雪の影響で冬の観光、スキー客需要は落ち込んでいる。	
		電気機械製造	世の中で起こっている戦争や紛争、電気自動車化の停滞と中国経済の停滞で3ヶ月前に比べて大きな変化は見られません。国内経済も、賃金を上げてても社会保険料も上がってしまうため、手取りが増えず気持ちが上がらないせいか消費意欲も上がっていない。	
	雇用	東青	人材派遣	景気拡大に伴う人材不足で人材オーダーはいただくが、人手不足が顕著で思うように、人員補充が出来ず企業運営にブレーキが掛かりそう。
		新聞社求人広告	物価、燃料価格の高止まり。物価上昇に見合う賃金上昇もなく、消費が停滞している。	
		津軽	人材派遣	相変わらず物価上昇が止まらない。一方、給与等所得収入は微増にとどまり実質収入減。この状況では景気が良くなるはずもない。
		県南	新聞社求人広告	業績が良いのは大手小売業など一部に限られている。企業の人手不足が慢性的で、それが好景気へのボトルネックになっている印象。
		やや悪くなっている	家計	東青
津軽	コンビニ			降雪量が少なかったため、昨年より売り上げが減少しています。
	都市型ホテル			ホテルの宿泊稼働率の低下。
	衣料専門店			高額商品が売れない。
県南	観光名所等		3か月前と比較すると、客入数、売上共に減少している。	
	美容院		来店頻度がかかなり悪くなっています。特に毎日の生活費についての心配の言葉を多く耳にします。	
	衣料専門店		物価上昇。食料品、サービス含め賃金アップは特に地方には波及されていない。	
下北	百貨店・スーパー		賃上げムードより現状に即影響を及ぼす一連の値上げで消費活動が少々鈍化。	
企業	東青		経営コンサルタント	食料品関係では、国際市場の値下がりによる原材料価格の下落や価格転嫁による収益の上昇があるが、宿泊業・飲食サービス業は観光客の大幅な落ち込みがあること、消費者の節約志向の高まり、コロナの緩和による衛生用品の需要減少により卸売業は収益減少傾向にあるため、全体的にみると景気は3ヶ月前と比べて悪化してる。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	東青	食料品製造	この度の某サプリメントの健康被害から当該色素を使用した商品も影響が出始めている。確認や今後の使用に関して正しい情報がきちんと伝わることを切に願います。
		県南	食料品製造	物価は上がっているのに実質賃金が上がっていない。
	雇用	県南	人材派遣	現状、お取引のある地元中小零細企業のお客さまは、昨今の原材料・物価・エネルギーや人件費の高騰、更に各種法令改定や労働力不足等に伴い厳しい経営状態にあるが、大手企業とは違い未だに打開策を見出していない業種業界が多い。そしてその課題の改善・解決までは、しばらく時間がかかると思うから。また、私ども人材派遣・人材紹介業としては、それに伴う大手企業と地元中小零細企業との労働条件・求人内容（採用時の待遇や昇給・賞与を含めた将来の展望、福利厚生や社内制度）の格差を、これまで以上に目にする様になってきている。
悪くなっている	家計	県南	レストラン	4月に入り、急激に静かになりました。平日は出張のお客様でなんとか売り上げがありますが、週末街がガランとしています。
	雇用	東青	求人情報誌	求人情報を見ていると、最低賃金改定による賃金の上昇は見られるが、それ以外（業績好調など）の理由でベースアップしている企業はほんの僅かだな、との印象を受ける。対して数年前から続いている、生活に必要なあらゆる物品の値上がりだが、現在もお止まらない（この先も止まりそうもない）値上がりの要因が原料・輸入コストの増大によるものではなく、企業の利益増大に結びつくものに転換されない限り給与に反映されることはなく、消費拡大には繋がらない。こういったことを考えると、現時点で景気が上昇しているとは感じ難い。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	卸売業	花見、お祭り等、完全にコロナ前に戻り、インバウンドも県内空港国際線復活とかなりの人流が見込める。
			観光名所等	観光シーズンの到来、予約状況も良好。
		津軽	設計事務所	県内業務の他に他県的设计物件も数件受注できる見込みがあります。マンパワーが確保できればですが。
			一般小売店	円安で外人旅行客が、国内観光地に押し寄せているというニュースが流れている。当地では、これから桜祭りやねぶたで外人観光客が増えると思う。
			都市型ホテル	観光シーズンになり、観光消費額が上がる為。
			百貨店・スーパー	当市全体の注目度が高くなっていると感じる為、観光客などの来客は増えるとおもう。
		県南	旅行代理店	最近地震が続いていることで、旅行計画に少し不安があるかもしれないが、これから花見、GW、夏休み、花火大会などが続くので期待できる。
			レストラン	良くなって欲しいです。中心街にお客様に足を運んでもらうイベント、祭りなどに期待したい。
やや良くなる	家計	東青	一般小売店	当市西地区のシネマコンプレックス・大型商業施設の再開、駅のオープン、一連の中心市街地再開発の完了等が域内の景気を間違いなく後押しするから。
			商店街	物価高への対応が、少し落ち着いた感がある。街なかでは再開ビルや駅ビルの完成・オープンなどが続くため、関連イベントを含み期待したい。
			一般飲食店	徐々にだがコロナの記憶もうすれていく方向にむかっているように感じる。公共機関が先陣をきって示してくれたら加速するのにと陰ながら願う。
			旅行代理店	良くなってほしい希望も含めた意見です。
			娯楽業	地方での中小企業の賃上げが進み物価上昇に対処出来てきたように感じます。
			百貨店・スーパー	春闘による昇給が反映されるから。
			衣料専門店	来街者が増えています、天候が穏やかなのも活動的になっている一因と思われま。中心街区の開発は確実に続いていて、今年度4月26日には新駅舎が完成、建物は線路をまたいだ無料の東西連絡通路で繋がり商業施設、美術館、三内丸山案内その後ホテルも開業します。楽しみです。
			レストラン	これからは、花見、ねぶたが控えてるので、より一層忙しくなってほしいと思う。
			美容院	これから、行事のある事が多いので人が動くのはあると思う。
			ガソリンスタンド	季節がら観光客が増える予想。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	東青	百貨店・スーパー	コロナが5類になって一年経過となり、昨年以上に人流が活発になり、消費が増えると考えられるため。
			観光名所等	当施設は外客が多くなった。必要なものの値上げを実施中。昇給は周辺事業所(東京店を含む)等の状況を確認の上実施。
		津軽	コンビニ	桜祭りやイベントが多くなると予想します。
			美容院	インフレに給料UPが少しづつ追いついてくれれば…と言う希望的観測をみんな持っていそうだから。
		県南	タクシー	暖かい時期を迎え、イベント、催し物の開催・増加に伴い、消費行動も活発化してくるのではないかと。
			卸売業	夏の御中元シーズンに入るため、ギフト需要が高まり売上げが伸びると予想している。
			美容院	値上がり、値下がり調整を各家庭で行って、利口な対策が生まれて来て欲しい。新年度の見通しも少しづつ見えて来ると期待します。
			一般飲食店	これから暖かくなり人出が増えるのではとの期待、色々なイベントもあるので良くなって欲しい。だが、物価上昇も追い打ちをかけているので、値上げばかりじゃ客離れの要因につながり、結果利益の縮小につながり、どう対策をとるかが問われる。行政の応援も皆無のようだし。
		下北	都市型ホテル	冬季間の宿泊閑散期から、ようやく予約が増えて来ています。当ホテルはインバウンド需要は余り影響はないものの、観光客やその他イベントに関わる団体予約等の動きが見られます。宴会等もコロナ禍の状態から脱却したように思われます。
			ガソリンスタンド	長い冬が終わりゴールデンウィークなどで多くの観光客が来ると思われるので期待を込めて！
	企業	東青	広告・デザイン	賃上げた企業が増え、消費も増え、インバウンド消費も増え、経済循環が正のスパイラルになりつつあると感じる。
			建設	大手企業の春闘における賃上げ率が高水準だったことと、マイナス金利解除により日銀が賃金と物価の好循環が見通せると判断している点。
		津軽	電気機械製造	新製品発売時期までは増加していくため。
		下北	食料品製造	これからイベントが各地で開催され、その影響で人の動きが活発になるのかなあと考えています。
雇用		津軽	新聞社求人広告	コロナの脅威が去って、さくらまつりや各地の行楽地、景勝地などでにぎわいが予想される。
変わらない	家計	東青	設計事務所	住宅着工、設備投資などの投資資金、ゼロ金利枠が外され緩やかに先々金利は上がるとすれば足踏み状態で様子見が一定期間続くのでは、円安は改善されず不安定要素。
			家電量販店	本格的に観光・旅行やアウトドア等、外出機会が増加するシーズンを迎える中で、直近で再び食品中心に値上げの報道もされており、景気は現状でやや上向き様子に見受けられつつも、生活防衛意識の高止まりにより個人消費は横ばいが続くかと予測されます。今後の金利の動きや、多方面における商品やサービスの価格とそれに対する賃金の伸び率(実質賃金の増減)などが景気を左右していくものと思われる。
			住宅建設販売	冬が終わり春へ向けて景気は少しばかり良くなると思うが、4月からの各種値上げを考えると夏前に一度落ち込むと思う。

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	娯楽業	やや良なる方向に考えたいが、金利の上昇が景気に多少なりとも影響を与える可能性があるためその分を差し引き変わらないと回答した。	
			都市型ホテル	宿泊：観光シーズンに入るが、昨年のようなイベント（大型コンサート、絆まつり）例年通りの需要と考えます。飲食：物価高等の影響で現状維持を見込んでいます。	
			タクシー	街の中に元気が無さ過ぎます。コロナ明けという明るい要素を上回る程のマイナスの要素が強過ぎる事が原因かもしれません。	
		津軽	娯楽業	いろいろなものが高騰しているの、まだまだ景気は良くならないと思う。	
			乗用車販売	いままでのような物価上昇が続くと思われ、購買意欲が低迷し景気も停滞しそうです。	
			住宅建設販売	リフォームは堅調で、小さいものから大きいものまで、動向(お客さまの)が活気的であ。金額(予算)は合わないのですが、今年はこれ、2、3年後はこれと段階的な計画を組んでおられる方もいます。	
		県南	観光名所等	会員数の減少と共に、商品に大きな変化がないため、このままの状態が続くと思われる。	
			百貨店・スーパー	今後の見直し、プラスになる要素が見当たらない。逆に悪くなる要素も見当たらない。	
			住宅建設販売	現状、住宅購入で動いているお客様は、公務員や上場企業勤務の人で（物価高に合わせて給与が連動するようなところで働いている人）半数を占めています。今後大半を占める中小零細企業に賃上げが広がれば景気は良くなるし、広がらなければ景気は悪くなると思います。	
			乗用車販売	年始の能登半島地震の影響から、東北地方にも頻繁に地震が起き、災害による不安要素があります。自動車の販売に関しても、需要と供給のアンバランスが起きており、まだ当分続きそうです。	
			商店街	まだまだ地方には恩恵が来ない考えるから。	
			百貨店・スーパー	会社で昇給を実施する為。電気とガスの政府補助が終了してしまう為。ガソリンの値上がりが続いている為。	
			設計事務所	政治不安がある。	
		下北	一般飲食店	田舎町だからそんなに高給取りもいないだろうし(中にはいるかも)値上げラッシュでそういう事には敏感で年金は思うほどもらえないとか介護保険料が上がったとかそういう暗い話ばかりです	
			タクシー	初夏の頃にはさらに値上げ商品が増え、ボーナス前でもあり今と変わらないと思います。	
		企業	東青	経営コンサルタント	全産業で価格転嫁による値上げが進み、民間調査によると加工食品を含む2,800品目について4月から値上げが発表されている。また、人手不足が深刻化し、2024年問題の建設業・運送業の残業規制が始まっている現状から、先行きは不透明と考える経営者が増加している。
				食料品製造	当県でも花見や観光に盛り上がりはじめているように感じますが、地震や交通機関のトラブルがこのところ目立ちます。行きたい気持ちと遠出は控えようとする気持ちが交差して微妙です。
			県南	飲料品製造	人、モノの動きなどは引き続き増えてくると思うが、労働時間の問題、人手不足の問題、賃金の問題など多々問題もある。経費が増える要素があるなかでの利益獲得は引き続き難しい状況が続くと思われる。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	広告・デザイン	新しい店のオープンが多くなっているように感じるが、ほとんど大手フランチャイズ系や中央資本の店が多い。つまりは販売促進や印刷物は本部で一括して制作されているため、地元の企業に依頼することがない。
			紙・パルプ製造	印刷情報用紙の需要低迷。
			電気機械製造	海外も国内も大きく変わる要素がない。せめて戦争・紛争が収束してもらえたら。
	雇用	東青	新聞社求人広告	景気回復の原動力となるトピックスがない。賃金上昇の機運が地方にまで波及しない。
		津軽	人材派遣	生活上不可欠な電気、ガソリンの補助金が廃止されるとの懸念も有り、費用負担は更に増加の恐れがある。
		県南	新聞社求人広告	物価、燃料価格の高止まりは、すぐには解決、好転しないため。
人材派遣	現状、お取引のある地元中小零細企業のお客さまは、昨今の原材料・物価・エネルギーや人件費の高騰、更に各種法令改定や労働力不足等に伴い厳しい経営状態にあるが、大手企業とは違い未だに打開策を見出していない業種業界が多い。そしてその課題の改善・解決までは、しばらく時間がかかると思うから。また、私ども人材派遣・人材紹介業としては、それに伴う大手企業と地元中小零細企業との労働条件・求人内容（採用時の待遇や昇給・賞与を含めた将来の展望、福利厚生や社内制度）の格差を、これまで以上に目にするようになってきている。			
やや悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	例年に比べ予約の数は少ない。宿泊料金の上昇傾向により客層の変化があると思われ、団体の受け入れが減少している。
			津軽	商店街
		県南	衣料専門店	物価高、価格高騰で購買力低下。
			衣料専門店	物価上昇※食料品、サービス含め、賃金アップは特に地方には波及されていない。
			ガソリンスタンド	春闘において、上場企業では賃上げの回答がニュースとなっているが、地方においては業況は依然厳しく、物価上昇を上回る賃上げは難しく可処分所得の増加は見通せないことから。
			一般小売店	物価の上昇は今後も続くが、労働者の賃金ベースアップはそれに全く追いつかないだろうから。
	下北	コンビニ	4月に入り値上げ商品が多数。円安が止まらない。	
		百貨店・スーパー	電気、ガスの補助が5月末に終了など値上げが多くなるため、買い控え等おこるのではないかと。	
企業	津軽	経営コンサルタント	大型店舗連続して閉店されるため、それに伴う離職者が多数出るのではないかと予想される。新店舗出店の情報がまだ不明瞭なため予想は難しいが買い物客の流れはこれから冬に向けて変わっていくと思います。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	企業	県南	建設	運送業の2024年問題は、今後様々な商品の価格上昇を招いて生活に大きな影響を与え、運送業や建設業などは、時間外労働規制や人員不足や高齢化など影響で廃業や倒産が加速していくと思う。最近、大企業が賃金アップをはかっているニュースが流れるが、県内の多くの中小企業の賃金アップは、人材流出防止や人材確保の目的が大きく、決して景気の良さからの動きではない。また、全国的に温暖化による影響で、桜の開花が遅れているニュースがあり、同じように今後当県の観光にも大きな影響を与える可能性が出てきた。
			経営コンサルタント	4月から、再び幅広い種目の食料品の値上げ、エネルギー価格高騰の政府補助が減少されることが予定されている為。
	雇用	東青	求人情報誌	求人情報を見ていると、最低賃金改定による賃金の上昇は見られるが、それ以外（業績好調など）の理由でベースアップしている企業はほんの僅かだな、との印象を受ける。対して数年前から続いている、生活に必要なあらゆる物品の値上がり、現在もなお止まらない（この先も止まりそうもない）値上がりの要因が原料・輸入コストの増大によるものではなく、企業の利益増大に結びつくものに転換されない限り給与に反映されることはなく、消費拡大には繋がらない。こういったことを考えると、現時点で景気が上昇しているとは感じ難い。

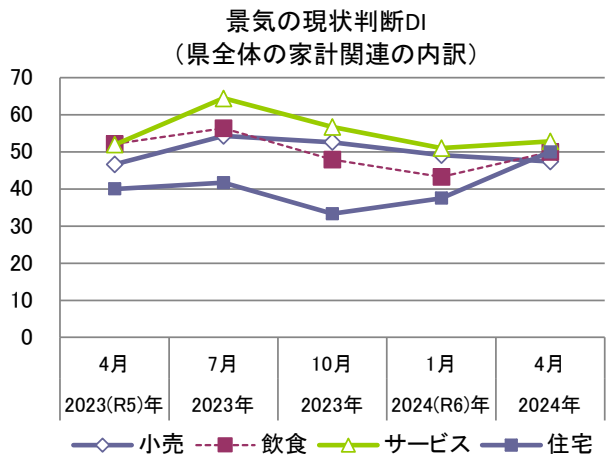
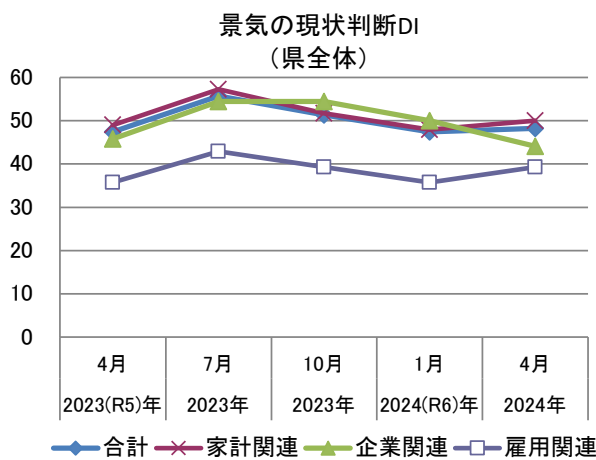
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

① D I

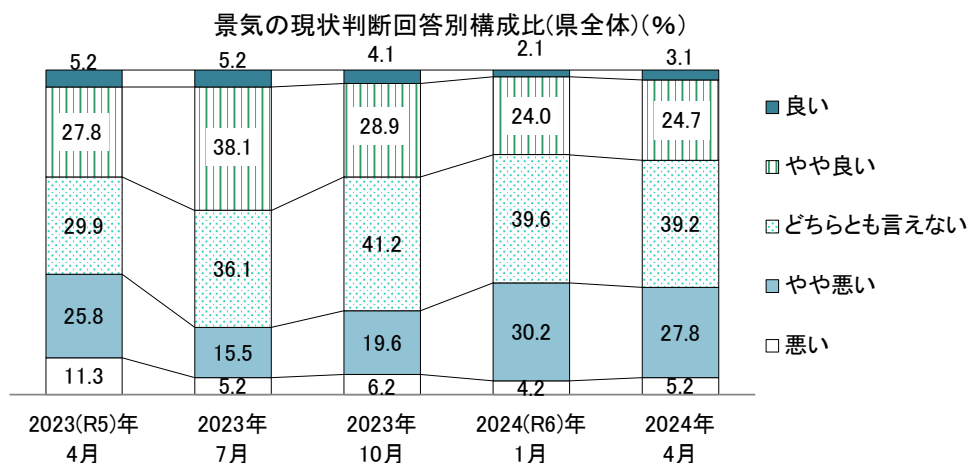
n = 97

	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
合計	47.4	55.7	51.3	47.4	48.2	0.8
家計関連	49.0	57.2	51.7	47.9	50.0	2.1
小売	46.6	54.3	52.6	49.1	47.4	▲ 1.7
飲食	52.1	56.3	47.9	43.2	50.0	6.8
サービス	51.9	64.4	56.7	51.0	52.8	1.8
住宅	40.0	41.7	33.3	37.5	50.0	12.5
企業関連	45.8	54.4	54.4	50.0	44.1	▲ 5.9
雇用関連	35.7	42.9	39.3	35.7	39.3	3.6



② 回答別構成比 (%)

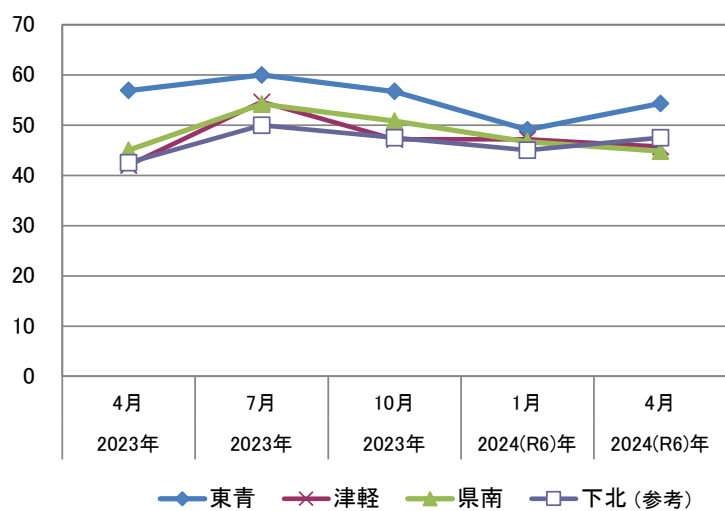
	2023(R5)年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	前期調査 との差
良い	5.2	5.2	4.1	2.1	3.1	1.0
やや良い	27.8	38.1	28.9	24.0	24.7	0.7
どちらとも言えない	29.9	36.1	41.2	39.6	39.2	▲ 0.4
やや悪い	25.8	15.5	19.6	30.2	27.8	▲ 2.4
悪い	11.3	5.2	6.2	4.2	5.2	1.0



③地区別DI

	2023年 4月	2023年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024(R6)年 4月	前期調査 との差
合 計	47.4	55.7	51.3	47.4	48.2	0.8
東青	56.9	60.0	56.7	49.1	54.3	5.2
津軽	42.0	54.6	47.2	47.2	45.7	▲ 1.5
県南	45.0	54.2	50.8	46.7	44.8	▲ 1.9
下北	42.5	50.0	47.5	45.0	47.5	2.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	百貨店・スーパー	インバウンド実績は昨年に比べ伸びている。購買商品に変化がみられる。
		衣料専門店	商店街、空き店舗の問い合わせが増えていますが、景気は明らかに上向きと感じます。環境問題、就業問題など改革は必要と感じますが、パフォーマンスに利用されるのはいかがと感じます。一にも二にも経済と県民の安心安全対策を願います。
		商店街	円安に伴うインバウンド観光の増及び、コロナ後の通常観光客の増も続き、周囲から商店街の人通りが増えたとの感想を多く聞き、その実感もある。これらに地元客利用が重なるよう、各種ビルオープンと連携したイベントスケジュールをするなど、徐々に街からの働き掛けも積極的に行う動きが大きくなっている。
		一般飲食店	コロナ禍の影響は深刻であったが行政の方々ももっと働きかけて世間の空気をひっぱり上げて頂きたい。景気は文字通り人の気であり上に向かうにはきっかけや動機が必要です。何とか宜しくお願ひしたい。
		レストラン	去年は台湾のお客様が多く今年も予約が入っていたけど、地震があり、(お悔やみ申し上げます)果たしてどうなるのか不安です。
		都市型ホテル	ビジネス：当村の再処理施設や洋上風力関連の動向が気になります。どの程度企業が動いているのか、当市に対しての宿泊需要への影響があるのか。観光：青森台湾便の運行再開の目処について知りたいです。
		観光名所等	3月クレジット・電子マネー払いの割合が増えた。
		旅行代理店	仕事柄・官公庁のお仕事や一般企業からの依頼は多くなってきていると感じます。
	津軽	タクシー	タクシーが捕まり難くなったというのは過去に政府が規制緩和の自由化による増車の弊害を省みた結果「特定地域」や「準特定地域」では営業車の台数を減らしなさいという再規制が出ており、そこにコロナ禍が要因で事が加速普及しただけ。つまりこの様な方向性を目指しなさいというお達しが出ていたにも関わらずその現実化が早まっただけの事で、一般消費者もコロナ明けでコロナ禍以前の生活がそのまま戻ったと自分に都合の良い勘違いをする思考は改めるべきなのかもしれません。
		美容院	すべての物が上がり始めているがそれとは別にポイントなどの使い方が気になるようですね。
		コンビニ	雪の仕事が少なかった為、仕事が少なかったという方や、廃業すると言ったこともありました。今回封筒の中にアンケート用紙と型番が入ってませんでした。
		衣料専門店	昨年まではプレミアム商品券などの購入意欲の出る事業がありました。今年当市は農家と市民の為に米券を発行しました。その為商店や飲食への予算が減り事業ができていないと聞きます。プレミアム商品券等の販促を希望しています。
		一般小売店	商店街が飲食店街に変わりつつあるのではないかと思うほどの変わり様である。
		商店街	春先からのイベントもあちらこちらで開催され、経済状況が苦しい中、前よりは経済が回っているように感じる。
		観光型ホテル・旅館	インバウンドの受け入れが多くなって来た。
		観光名所等	原燃関係者が当県ではいつも生き生きとしていました。当村は更に周辺の賑わいなど素晴らしい。昭和時代の終わりと比較すると私は原燃誘致は良かったと思います。この事業に携わる関係者の笑顔が素敵です。勿論この先も事故のないことが前提です。県庁でも「エネルギーコース」を紹介すべき。

分野	地区	業種	自由意見	
家計	津軽	設計事務所	設計業務のうち設備関係など委託できる専門分野の業者数が少なくおまけに高齢化が進んでいます。受注数を増やしたくても出来ないという状態です。数が少ないうえに高齢のため無理もできません。その分野の若手もなかなか出てこないで数年後はどうなるんだろう。悩みの種です。	
		コンビニ	夜飲食の仕事をしている方々、帰宅する時間が早く、22時頃になると繁華街に人がいなくなると、交通・運輸業従事者が言っていました。	
	県南	百貨店・スーパー	旧デパートのテナントオープンが延期となりました。資材不足と言われていますが、それより後に駅西地区にオープン予定の商業施設は予定どおりのオープンに向け、準備が着々と進んでいます。万博準備、熊本特需、震災地域復興と、ますます資材不足が予想される中、予定どおりオープンできるのか不安です。集めた資金を有効に使って欲しいです。大手スーパーの閉店が8/31に決まったそうです。当市だけ後継テナントの発表がまだありません。どうか映画館ができますように。青森や盛岡がとて羨ましいです。	
		衣料専門店	目に見えて外国人観光客は増加している。当店での免税売上2023年度(3月~2024年2月)前年比713.6%、2019年比※コロナ禍前 86.3%、コロナ禍(2020年から2022年)はほぼ免税売上は無い状態。	
		卸売業	海外の紛争により一部商品の輸入が滞り、売り上げ機会を逃している。	
		一般飲食店	都会では賃上げなど景気が良いみたい(大企業)だが、ローカルの中小企業は現実それぞれじゃないと感じています。特に飲食業は物価上昇に追いつかない。このままの状態が続くと撤退する店が増えるのではと懸念しています。	
		美容院	何が大切な出費かどうかの見直しが出来てくると思っています。	
		ガソリンスタンド	賃上げの原資としては、生産性の向上と商品価格の値上げしかないと思われるが、業種によってはいずれも簡単ではなく、そのことが人員の補充においても悪循環となっている。特に地方においては。	
		住宅建設販売	物価高を非常に感じるようになってきました。ガソリンスタンドやスーパーでの買い物(身近で)で特に感じてきています。	
	下北	コンビニ	玉で買い物をする人がやたらと多くなった。	
		一般飲食店	これは私の職場での事ですが一応60年以上続いているお店です。材料高騰の為昨年11月に6~7年ぶりに値上げをしたとたん店に客は遠のくし、出前も1件もこない事もおこるようになりました。お店を始めてこういうことは前代未聞です。	
	企業	東青	食料品製造	行動域が広がっていますが コロナもやはり終わっていないのですね。気を付けていかなければならない。万が一の後遺症が恐怖です。
			建設	大手企業では高水準の賃上げを実現しているが、中小企業への波及は難しいと思われる。特に建設業の中小企業にとって今年の4月から施行された「時間外労働の上限規制」により、今後の業績への影響が懸念され、積極的な賃上げは難しい状況である。業界の担い手不足も深刻になりつつあるだけに、先行きはかなり厳しい状況だと認識している。
			経営コンサルタント	物価高、エネルギー高や人手不足が続き、新型コロナ対策融資の返済が本格化している。経営体力の弱い企業は重荷となり、倒産件数は増加傾向にある。今後は収益環境の悪化を乗り越える経営体力の改善が必要とされる。
津軽		食料品製造	物流問題や人手不足等で世の中の活気がなくなってきているように感じる。	
		電気機械製造	物価の上昇が止まらない。賃金の上昇が物価上昇に追いついていない。	
		建設	4月から、物の値段がさらに値上がりしている、どう生活していけばいいのか。賃金が上がってほしいが、年齢が上の方は下がるだけだ、せめて年金もらう迄はがんばって働きたい。いつになったら世界の戦争は終わるのだろうか。株価が上昇しても、我々に良い影響はあるのか。	

分野	地区	業種	自由意見
企業	県南	食料品製造	大手企業が積極的に賃上げを実行しているが、地方企業の実情は簡単に賃上げをできる状況ではない。この状況が続けば県内企業の人手不足はもっと深刻になり、経営の継続が厳しくなる。
		電気機械製造	岩手県南部や千歳に出来る新しい工場に県内の人材を奪われている。お金(時給)で気軽に他地域まで動く人が増えた。
		建設	最近、気候変動が景気に大きく影響を与えるようになり、先行きが予想しにくくなっている。温暖化がよい影響をもたらす企業と、逆にダメージを受ける企業とで景気バランスがどう変化していくのか…。
		広告・デザイン	地元企業が新規の事業に着手する場合に助成金申請したいが、ハードルがまだ高いので、ある程度内容が良ければ緩和して欲しい。
	下北	食料品製造	必要であれば購入、必要な分だけ購入の方が目立つように感じます。節約しながら買い物をしているのかなぁと思います。まだ経済的に安定はしていないのかと思います。
雇用	東青	新聞社求人広告	2024年問題の影響で、郊外のバス路線が大幅に減便されました。学生、お年寄りなど、自家用車を運転できない方たちは、移動手段がなくなり、本当に困っている様子を目の当たりにしました。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
津軽	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
県南	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3か月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県総合政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038